

回 覧				
--------	--	--	--	--

## 本日、団体交渉。退職金削減問題

退職金の大幅な削減については、本年3月に提案され、4月になって、公務員に準拠した調整率を導入する案が提示されました。以降、一時金団交の席上での交渉等はありませんでしたが、最近になるまで進展がありませんでした。本日の団交に先駆けて行われた拡大窓口の様子では、本日の団交で改めて退職金の削減を提案するようです。改めての提案では調整率はそのままで、適用する期日を以前の提案から一年先送りにするようです。また、合わせて早期退職募集制度の導入が提案されるようです。いずれも昨年12月に「国家公務員の退職手当の支給水準引き下げ等について」閣議決定された内容に準じたもので機構の自主性のないものです。団交では、大幅な削減に対する緩和措置を要求するとともに機構の自主性を追求します。

## 第105回定期中央大会報告

原研労組中央大会は、予定通り9月13日(金)に開催されました。1号議案：第64期の運動の総括と65期の運動方針、2号議案：第64期の財政報告及び3号議案：65期の財政方針の主な議題はすべて承認され、大会スローガンを決め閉会しました。

来賓として、特殊法人労連から篠原百合子氏に挨拶を頂きました。

大会では、退職金削減問題、機構の改革、再雇用者の処遇問題、職場環境の悪化、処遇の問題、などなど現在我々が直面している種々の課題に対して活発な意見交換、情報交換が行われました。特に、退職金削減

問題では、裁判闘争になるのか、なった場合の闘争資金は十分なのか、など執行部の方針を支持する意見が圧倒的でした。大会の詳細については後日、改めて紹介します。

\*\*\*\*\*

本の紹介：

### 「原子力村の陰謀」

朝日新聞出版発行 今西憲之+週刊朝日取材班

1995年に「もんじゅ」で温度計破損から大量のナトリウム漏れ事故が起き、その後、「動燃」が事故の印象を弱めようと、事故現場のビデオを隠したり、嘘の報告をしたりして糾弾されました。その隠ぺい問題などの調査をゆだねられた西村成生氏は、出張先のホテルで不可解な死に方をしました。公式には自殺と言うことにされましたが、遺族は納得せず裁判を起こしていました。その西村氏は、自宅に段ボール箱入りの多くの書類を残していました。

この本は、西村氏が残したファイルに週刊朝日が展開した取材も加え、もんじゅ+旧動燃の暗部を照らし出したものです。

西村氏が残したファイルは、旧動燃が組織的にいかがわしい裏工作を行っていたことを示すもので、原子力施設の設置地元への「PA」活動、反対派を村八分にさせる工作、選挙への介入、思想調査さらに恫喝など、読んでいて気分が悪くなるものが並んでいます。

<裏面に続く>

**給与の大幅削減特例措置を直ちにやめろ !!!**

いかがわしい工作は、「もんじゅ」だけではありません。東海村でも[反対派]との闘争を公安と一緒にやっていた証拠も残されていました。非公式組織でそのような活動を行うグループを「良識派」と自ら呼び、活動していました。今でもあるのでしょうか？

そんな活動の対象になっていたかもしれないある知人によれば、たとえば、「アスファルト固化処理は、危険なもので、これまで経験がないものだから、いきなり大きなものを作るのではなく、小さなもので経験を積んでいくべきだ」と言う、「反原子力だ」と目の敵にされたとのこと。そういうことを以前から聞いていたのですが、証拠が示され本になったものを読むと、さらに気分が悪くなります。

「良識派」なるものが、頑張っている一方で、「もんじゅ」も、アスファルト固化処理施設も大きな事故を起こしました。それだけでなく、事故以上の不信を世間に植え付けました。努力すべき場所と方向を完全に間違えていたのだと思いますが、当事者たちや、その後輩たちはわかっているのでしょうか。もう「バカ」と言う言葉が浮かんできますが、敵視された人たちや、それに巻き込まれた人たちにとっては、「バカ」で済む話ではありません。こんな怪しからんことをやっていたおおもとは、根拠の希薄な「絶対安全」の思い込み、安全神話があり、それも事故で根本から否定されました。こんな体質は早急に改めないで、原子力のような難しいことはうまくいかないでしょう。

原子力に関わる人は是非読んでおきたい本です。約 300 ページの本です。第 6 章から読んでもよいかもしれません。

\*\*\*\*\*

## 研究問題対策部アンケート

Web のアンケートは 9 月 30 日まで実施中です。皆さんの積極的な回答をよろしくお願いいたします。

原研労のホームページ「<http://orange.zero.jp/genkenrouso.wing/>」から「研対ニュース」をクリックしてアンケートページに進むことができます。インターネット検索で原研労の古い URL がヒットすることがあります。URL を確認して、正しい URL にアクセスして下さい。

アンケートは電子ファイルでも回答できます。E-mail アドレス「[genkenrouso@muse.ocn.ne.jp](mailto:genkenrouso@muse.ocn.ne.jp)」に送ってください。

**JCO 臨界事故を忘れない/原子力事故をくりかえさせない**

### 2013 年 9.30 茨城集会

日時：9 月 29 日(日) 午後 2:00~4:00

会場：東海文化センター会議室、 資料代 500 円 無料保育あり

記念講演： 東海第 2 原発の再稼働、とんでもない

—軽水炉の本質的欠陥と 3.11 大地震のダメージから考える— 講師 館野 淳氏

他に、報告、交流

集会の後、日本原電へ「東海第 2 原発廃炉を求める申し入れ」を行います。